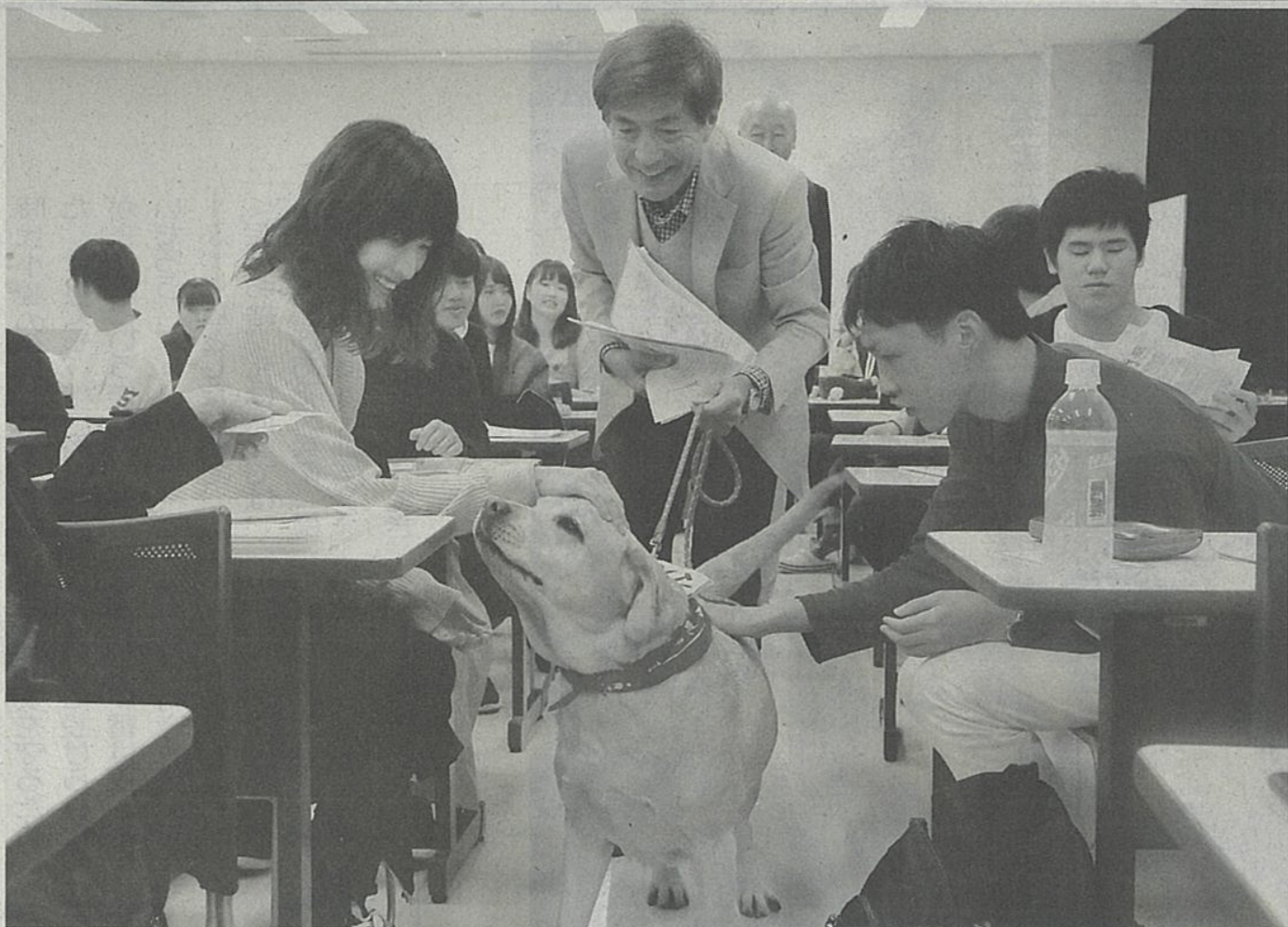


嘉田教授に連れられて学生とふれあうマル（大阪府大東市）



## キャンパス 新景

10月下旬、四條畷学園大（大阪府大東市）の講義室。始業のチャイムが鳴ると、ラブラドルレトリバーのマルが入ってきた。しっぽを左右に大きく振りながら室内を巡回。頭や体をなでた学生から「かわいい」と笑みがこぼれた。

マルはリハビリテーション学部の嘉田良平教授の愛犬。2017年から同教授の社会学の講義に登場している。この日はペットの殺処分などがテーマ。看護師など医療従事者を育成する同大学で、ペットが医療や介護の現場で担う役割を考えてもらうのが狙いだ。

嘉田教授がマルと出会ったのは3年前。胃がんを患っていた同教

## 教室に愛犬「癒やし」学ぶ

## 四條畷学園大

授が退院する際、医師から運動することを勧められた。その頃にマルの飼い主を募集していたNPO法人を見つけ、「毎日の散歩は最適な運動になる」と引き受けた。

マルは講義中、教壇に立つ嘉田教授の隣で静かに横になる。「マルがいると講義に集中してくれるだけでなく、学生の表情も豊かになる」（同教授）という。

治療やリハビリの現場では「癒やし」の効果が期待されている。理学療法士を目指す1年の藤村優奈さん（19）は「ペットや動物が持つ効果を学び、将来、患者や高齢者の生活の質の向上に役立てたい」と話した。（島田直哉）

時ごろから同じ石垣島泊  
だった全日空の機長と飲  
食し、4軒訪れた。

4軒目の店員が途中か  
ら2人の姿が見えなくな  
かかわらず、約10時間前  
まで合計でハイボール6

「少し雑だ」と感じたも  
ののやり直しを促してい  
なかつたという。  
このため副操縦士は検  
査をすり抜け、機長2人

